



1月 物は考えよう ～プラス思考で～

内灘町立内灘中学校長 谷内 正樹

新しい年がスタートしましたが、コロナウイルスの感染が再び広がりを見せるなど、気が抜けない状況が続いています。消毒、換気、検温等の防止策に確実に取り組み、できる限り教育活動を進めていきたいと考えています。幸い、夏休みや冬休み、各種行事を削減したことで、授業の進度については、通常よりも早めに進んでいます。不測の事態に備え、受験等へ影響がでないように、今後も早め早めに進めていく予定です。

さて、先日の2学期終業式で、「大変な2学期を乗り越えられたのは、1番つらい思いをした3年生が今の自分達の現状をすべて受け入れ、変わらないことにクヨクヨせず、プラス思考で物事に取り組んでくれたことが一番大きい。」と話をしました。そして、先日、そのことを「石川県小中校長会報」にも投稿させていただきました。

石川県小中校長会報【校長室の窓】より ～一部省略して掲載～

「コロナに負けるな頑張ろう内灘」

・・・真冬以外は、校長室の窓もドアも常に開けるようにしています。特に今年は、コロナウイルス感染拡大の影響で、聞こえてくる生徒の声はいつもより元気がないように感じます。それもそのはず、修学旅行は日帰りの県内バス旅行に、体育祭は規模を縮小して実施としたものの、文化祭は合唱ができないことから中止に、授業時数の確保から夏休みもわずか10日となれば、元気を出せと言っても無理があります。

しかし、そんなつらい時に立ち上がってくれたのが生徒会でした。各学年代議員会では、学習の遅れを取り戻すために、授業に集中して取り組む企画を立案し、実践してくれました。また、生徒会執行部では、自分達の心を込めた挨拶で町も学校も元気にしたいとの思いで、1週間で地域住民10万人にあいさつをする「コロナに負けるな頑張ろう内灘～あいさつ10万人チャレンジ～」を企画し、回覧板で全戸に周知を図り、実践に取り組みました。「中学生に元気をもらいました。」「困っているお年寄りを助ける中学生の姿を見ました。」といった声が寄せられるなど、自分達だけでなく、地域のためにも力になろうとする生徒たちの思いや行動に心を動かされました。

10月には、唯一の生徒会行事となった「体育祭」に向けた各団の練習が始まり、久しぶりに元気な声が校内に響きわたりました。

体育祭は、3年生の思いが凝縮した素晴らしいものでした。閉会式後、校長室へ4人の応援団長が挨拶にきました。「私たちのために体育祭の実施を決断していただき、本当にありがとうございました。コロナでつらいことばかりでしたが、最高の思い出になりました。陰で支えていただいた先生方にも感謝の気持ちでいっぱいです。」と話してくれました。「つらい思いをさせて申し訳なかった。」そう思いながら「こちらこそたくさんの元気と勇気をもらったよ。本当にありがとう。」と答えるのが精一杯でした。

コロナウイルス感染拡大の影響で多くの日常を失いました。しかし、そこから学んだことも数多くあります。あたり前の日常のありがたさ、多くの人たちに支えられて生きていることへの気づき、感謝の気持ちを素直に表現できるようになったこと・・・、つらい体験が人としての成長を促してくれたように感じています。



「物は考えよう」という言葉があります。物事は考え方しだい、よくも悪くも受け取ることができるという意味ですが、生徒達のプラス思考に私たち教職員の方が励まされているように感じます。

【1月の生活目標「さわやかなあいさつと身なりを心がけよう」】

新年を迎え、いよいよ3学期がスタートしました。3学期は学年の総仕上げとなる重要な学期です。3学期は生徒たちが今までの自分を振り返る意味でも、これまでの生活目標をもう一度実践していこうと考えています。1月は「あいさつ」と「身なり」について取り組みます。どちらも生徒たちのこれからの成長にとって欠かせないものです。

あいさつは「元気な声」で「相手の顔を見て」「笑顔」で交わせるようにしましょう。良い身なりはその第一印象により、その人の印象の良さにつながります。各学年、月末には大事な学校行事を控えています。身なりをしっかりと整えて臨みましょう。また、ご家庭でも日頃から、さわやかなあいさつや身なりを意識するように声かけをお願いします。



【インフルエンザ・新型コロナウイルス予防に向けて】

新型コロナウイルス感染症対策もしながら、これからはインフルエンザの予防も大事になってきます。本校も、先月から暖房機器を稼働しつつも換気・手洗い等の指導も生徒には十分に呼びかけております。常時、換気し続けていることから教室室内も十分な暖気がないことも予測され、寒いと思う生徒に対してはひざ掛け等の持参も認めています。ひざ掛けに関しては、女子はストッキングを履いた上でと先月伝えましたが、履かない状態でも認めることとしましたのでよろしくお願いいたします。

【登下校では十分気をつけてください】

寒い日が続くようになり、生徒の登下校時に積雪や路面の凍結が心配されます。足元が悪い時は、長靴やスノトシを着用するように指導しています。歩道が積雪でふさがれた時は、交通量の多い道路ではなく、街中を歩くように、また、住宅地の軒下を歩く時も屋根雪の落下に注意するように指導しています。生徒の安全な登下校のためにも、登校する前にご家庭でも一言注意を促してください。また、気温の低い時は、手袋やマフラーだけでなく、防寒具を着用させてください。



【家庭学習の定着を図りましょう】

先月、1・2年生の家庭学習アンケートを取り、その結果が出ましたのでお伝えいたします。7月と比較して心配なのは両学年とも家庭学習が少なくなっているという事です。平日のTV・動画視聴が3時間以上が増えています。それに伴って、家庭学習時間1時間未満が増えています。生徒のみなさんにおいては、日常生活リズムを今一度見直しましょう。ご家庭におかれましても、お子様の家庭での様子に目をかけ、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

